

令和4年度版

2022

小・中学生広島平和学習



小平市教育委員会

教育部地域学習支援課

目 次

「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって.....	1
小平市非核平和都市宣言	2
平和宣言（令和4年 広島市 平和記念式典）	3
「小・中学生広島平和学習」の日程.....	5
事前研修・広島での様子	7
事後研修	9
参加者の声	10
参加者	31



「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって

小平市は、戦後60周年にあたる平成17年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに非核平和都市であることを宣言しました。

この宣言からちょうど5年を経過する平成22年度にむけて、非核平和都市宣言にふさわしい事業を検討するため、平成21年度に小平市非核平和事業の在り方等に関する懇談会が設置されました。

この懇談会では、市が新たな平和関連事業に取り組むことで、少しでも世界平和の実現に貢献できればとの願いのもと、検討が行われ、市に報告がなされました。

その報告のなかで、非核平和都市宣言5周年にふさわしい事業として挙げられたもののなかに、参加系事業として「小・中学生の広島派遣事業」がありました。

平成22・23年度には、この事業の実現に向けての検討を行い、平成24年度に「小・中学生広島平和学習」という事業名で実施することができました。

「小・中学生広島平和学習」は、非核平和都市宣言の願いを踏まえ、子どもたちが実際に広島を訪問して平和記念式典に参列し、原爆ドーム等を見学することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてもらうことを目的としたものです。

令和4年度は、小学6年生1人、中学2年生6人、中学3年生3人の計10人と引率者4人で実施しました。

小平市非核平和都市宣言

世界の平和の実現と核兵器の廃絶は、わたしたち人類共通の願いです。

しかし、世界ではいまだ戦争がやまず、核兵器は人類の脅威となっています。

わたしたちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを全世界に伝えていく重要な役割を担っています。

先人が築いた玉川上水の清らかなせせらぎと、緑豊かな大地に育まれたこの小平の地を守り、次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、わたしたち小平市民は、友愛の心を持ち、平和の実現に努めていきます。

小平市は、戦後 60 周年にあたり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、平和への誓いを新たにし、ここに非核平和都市であることを宣言します。

平成 17 年 6 月 7 日

小平市

平和宣言

母は私の憧れで、優しく大切に育ててくれました。そう語る、当時、16歳の女性は、母の心尽くしのお弁当を持って家を出たあの日の朝が、最後の別れになるとは、思いもしませんでした。77年前の夏、何の前触れもなく、人類に向けて初めての核兵器が投下され、炸裂したのがあの日の朝です。広島駅付近にいた女性は、凄まじい光と共にドーンという爆風に背中から吹き飛ばされ意識を失いました。意識が戻り、まだ火がくすぶる市内を母を捜してさまよい歩く中で目にしたのは、真っ黒に焦げたおびただしい数の遺体。その中には、立ったままで牛の首にしがみついた黒焦げになった遺体や、潮の満ち引きでぷかぷか移動しながら浮いている遺体もあり、あの日の朝に日常が一変した光景を地獄絵図だったと振り返ります。

ロシアによるウクライナ侵攻では、国民の生命と財産を守る為政者が国民を戦争の道具として使い、他国の罪のない市民の命や日常を奪っています。そして、世界中で、核兵器による抑止力なくして平和は維持できないという考えが勢いを増しています。これらは、これまでの戦争体験から、核兵器のない平和な世界の実現を目指すこととした人類の決意に背くことではないでしょうか。武力によらずに平和を維持する理想を追求することを放棄し、現状やむなしとすることは、人類の存続を危うくすることにほかなりません。過ちをこれ以上繰り返してはなりません。とりわけ、為政者に核のボタンを預けるということは、1945年8月6日の地獄絵図の再現を許すことであり、人類を核の脅威にさらし続けるものです。一刻も早く全ての核のボタンを無用のものにしなくてはなりません。

また、他者を威嚇し、その存在をも否定するという行動をしてまで自分中心の考えを貫くことが許されてよいのでしょうか。私たちは、今改めて、『戦争と平和』で知られるロシアの文豪トルストイが残した「他人の不幸の上に自分の幸福を築いてはならない。他人の幸福の中にこそ、自分の幸福もあるのだ」という言葉をかみ締めるべきです。

今年初めに、核兵器保有5か国は「核戦争に勝者はなく、決して戦ってはならない」「NPT（核兵器不拡散条約）の義務を果たしていく」という声明を発表しました。それにもかかわらず、それを着実に履行しようとしなければかりか、核兵器を使う可能性を示唆した国があります。なぜなのでしょう。今、核保有国がとるべき行動は、核兵器のない世界を夢物語にすることなく、その実現に向け、国家間

に信頼の橋を架け、一步を踏み出すことであるはずで、核保有国の為政者は、こうした行動を決意するためにも、是非とも被爆地を訪れ、核兵器を使用した際の結末を直視すべきです。そして、国民の生命と財産を守るためには、核兵器を無くすこと以外に根本的な解決策は見いだせないことを確信していただきたい。とりわけ、来年、ここ広島で開催されるG7サミットに出席する為政者には、このことを強く期待します。

広島は、被爆者の平和への願いを原点に、また、核兵器廃絶に生涯を捧げられた坪井直氏の「ネバーギブアップ」の精神を受け継ぎ、核兵器廃絶の道のりがどんなに険しいとしても、その実現を目指し続けます。

世界で 8,200 の平和都市のネットワークへと発展した平和首長会議は、今年、第 10 回総会を広島で開催します。総会では、市民一人一人が「幸せに暮らすためには、戦争や武力紛争がなく、また、生命を危険にさらす社会的な差別がないことが大切である」という思いを共有する市民社会の実現を目指します。その上で、平和を願う加盟都市との連携を強化し、あらゆる暴力を否定する「平和文化」を振興します。平和首長会議は、為政者が核抑止力に依存することなく、対話を通じた外交政策を目指すことを後押しします。

今年 6 月に開催された核兵器禁止条約の第 1 回締約国会議では、ロシアの侵攻がある中、核兵器の脅威を断固として拒否する宣言が行われました。また、核兵器に依存している国がオブザーバー参加する中で、核兵器禁止条約がNPTに貢献し、補完するものであることも強調されました。日本政府には、こうしたことを踏まえ、まずはNPT再検討会議での橋渡し役を果たすとともに、次回の締約国会議に是非とも参加し、一刻も早く締約国となり、核兵器廃絶に向けた動きを後押しすることを強く求めます。

また、平均年齢が 84 歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、生活面で様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩に寄り添い、被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆 77 周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。

令和4年(2022年)8月6日

広島市長 松 井 一 實

「小・中学生広島平和学習」の日程

1日目 8月5日(金)

朝食× 昼食○ 夕食○

時 間	内 容	場 所・備 考
7:40	参加者集合	市役所 立体駐車場東側
7:45	出発	
7:58	青梅街道駅発 	
8:04	国分寺駅着	
8:15	国分寺駅発	
9:05	東京駅着	
9:30	東京駅発 	のぞみ21号
	昼食(車内) 	
13:23	広島駅着	
13:45	マイクロバスで移動	
14:10	広島平和記念公園着	荷物はバスに置いておく
14:10~16:40	公園内見学	原爆ドーム、慰霊碑、 原爆の子の像(折り鶴)、 平和記念資料館等
16:50	マイクロバスで移動	
17:30	ホテル着	
17:30~18:00	荷物等身辺整理	ホテル内
18:10~19:10	夕食 	
19:10~19:20	明日の日程説明	
19:20~	入浴・自由時間 	
	検温	
21:00~	消灯・就寝 	体調確認見回り

2日目 8月6日(土)

朝食○ 昼食○ 夕食×

時間	内容	場所・備考
4:40~5:20	起床・洗面 清掃・身辺整理 検温 	
5:20~5:50	朝食 出発準備	ホテル内
6:00	マイクロバスで移動	ホテル発
6:45	広島平和記念公園着	受付は 7:20 まで
8:00~8:45	平和記念式典参列	献花受取り
8:45~10:00	休憩・献花	1人1束
10:30	マイクロバスで移動	
11:00~12:00	昼食(お好み焼き)  徒歩にて移動	ひろしまお好み物語
12:10	広島駅着	
12:10~12:55	班ごとに自由行動	土産店等
12:55	集合	
13:22	広島駅発 	のぞみ28号
17:15	東京駅着	
17:42	東京駅発 	
18:24	国分寺駅着	
18:35	国分寺駅発	
18:40	青梅街道駅着	
18:50	市役所到着・解散	



事前研修・広島での様子

事前研修

令和4年7月9日（土）午後2時30分～4時30分
中央公民館

保護者同席のもとで日程や持ち物などの説明を行い、その後、参加者のみで事前研修を行いました。

他の参加者や引率する青少年委員・看護師・小平市職員と初めて会って、最初は緊張していた参加者も、班ごとのワーキングをとおして、次第に緊張がほぐれ、みんな笑顔になっていきました。

最後に宿題を出されて、びっくりしていたみなさんですが、8月5日に元気で会うことを約束して、事前研修は終わりました。



広島での様子

令和4年8月5日（金）～8月6日（土）

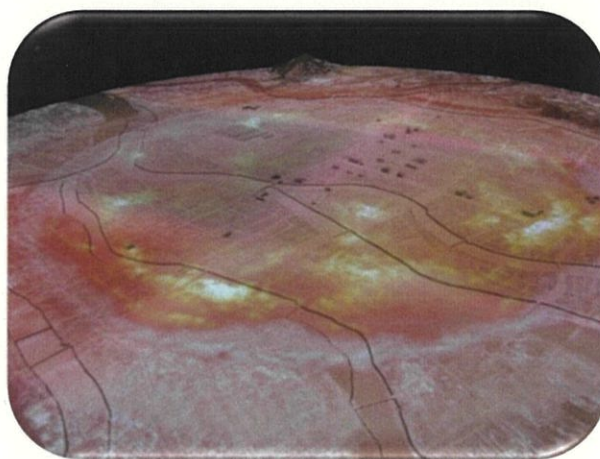
8月5日は、原爆死没者慰霊碑→平和の灯（ともしび）→原爆の子の像→平和の鐘→平和の時計塔→原爆ドーム→爆心地→アオギリ→広島平和記念資料館の順に歩いて見学しました。原爆の子の像では、参加者みんなが折った千羽鶴を捧げました。

とても暑い中での見学となりましたが、被爆当時の惨状を残す原爆ドームを間近に見て、みなさんの「遠い昔の遠い所での出来事」という思いは変わったようです。



広島平和記念資料館では、「平和学習ワークブック」を片手にメモをとりながら、模型や映像・写真、被爆資料などを見て、原爆の恐ろしさをあらためて知りました。

広島までの新幹線車内で賑やかだった参加者も、みんな真剣に見学していたのがとても印象的でした。



8月6日は、平和記念式典に参加しました。厳しい日差しで、とても暑い日となりましたが、前日に学んだことを振り返りながら、また、原爆が投下された当時もこのように暑い日であったことを思いながら、祈りを捧げました。

式典終了後には、世界平和の願いをこめて1人ずつ献花を行いました。



事後研修

被爆体験者の講演

令和4年8月20日（土）午後3時～午後3時50分

小平市原爆被爆者の会会員である田中^{たなか} 美光^{よしみつ}さんにお話ししていただきました。

「小・中学生広島平和学習」の参加者は、最前列で一般参加者とともにお話を伺い、実際に広島へ行って学んできたことと合わせて、平和の大切さについてあらためて深く考える機会となりました。



報告会

令和4年8月20日（土）午後3時50分～午後4時30分

「被爆体験者の講演」に引き続き、参加者から広島へ行って学んだことを1人ずつ報告してもらいました。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことや、そのために自分たちができることなどについて、ひとりひとりが考えて発表し、みんなとても立派な報告でした。

参加者からの報告のあとは、被爆体験者との懇談も行いました。



参加者の声

参加者は、事前研修で学んだことなど、様々な想いを胸に抱いて広島を訪問しました。

事前研修や事後研修などでまとめた参加者の声は、以下の4つの視点から書かれています。

- ① 平和学習に参加する前の広島のイメージ
- ② 平和学習に参加した後の広島のイメージ
- ③ 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて何が一番印象に残ったか
- ④ 平和な世の中をつくっていくために何が大切で、そのために自分たちができることは何か

参加者が自分の目で見て、耳で聴いて、肌で感じてきたことが、自分の言葉でつづられています。

参加者のみなさんは、実際に広島へ行ってどのようなことを感じたのでしょうか。



広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- ・母に「おまじきしてみよう？」といわれたから。
- ・おまじきまんじゅうおいしそう。
- ・参加が決まったら母に「ある晴れた夏の朝」という名前の本をよんでと言われた。

【広島平和学習に参加した後】

- ・リトルボーイが思ったより小さかった。
- ・広島っているんな場所に平和についてる、平和を願っている都市だと思った。
- ・みつおまじきまんじゅうおみやげで買ってかえた。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

千羽づる リウ、リョウが多かったから。
ほかにも、色をかえて文字を作ってるのがあった。
なんでこんなにつるをおる必要？ ようがある
のかわからなかったのので帰ってから調べて
みたら「願掛け」といういみがあるとした。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

わからない が、げんばくのことは忘れないよう
にしたい。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆ドームなどテレビで見たことばかりでも実際に見たことがなかったから見たかった。
- お好み焼きを食べたかった。
- 広島に行く機会があればいいから行ってみたいかった。
- 被爆した方々の話を聞いてみたいかった。
- 今ウクライナで戦争がおきているけど広島で原爆が落した日の前の日の出来事や落した日の後広島はどうなっていたのかを知らなかった。
- 平和についての学習をもっと深めたいかった。
- 今自分達にできる平和なこととはなんなのか。

【広島平和学習に参加した後】

- 原爆ドームがTVやネットで見る時と違い、とても大きくて感動した。
- 資料館には川に流されているたくさん人の頭骨、人の背中の焼かれた後の写真などTVやネットで見たことのない写真がたくさんあってとても、驚いた。
- 被爆して亡くなった方のお話は資料館にあって、今ウクライナでも戦争は起きているけど絶対に戦争はいけないことだし、早く戦争が終わってほしいと思った。
- 平和式典中の知事や総理の話を聞いて、唯一の被爆国である日本が原爆のことについて理解し、世界に伝えていかなければならないと思った。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

原爆ドーム

- 原爆ドームはTVやネットで見たことはあったけど実物は初めて見たから。
- 戦後77年たっているのに原爆ドームは今も残り続けていることにとても感動したから。
- 世界遺産にも登録されていることを知って、世界的にも原爆ドームは知られているんじゃないかと思ったから。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

- 後世の人に戦争の悲惨さや今回の広島平和学習で学んだことを語り継いでいくこと。
- 当時の人達の心情から自分達なりの考えを出していくこと。
- 他人の意見を否定するだけでなく、認めることを大切にする事。
- 自分のことだけでなく、人のためにできることを考え、思いやりを持って生活すること。
- 身近な小さい争いごとや、けんかを防いでいくこと。

広島について思うこと...

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆ドームを本やテレビなどでしか見たことがなかったから実物を見に行きたい!!
- ・野球で広島カープが好きなので広島に興味があったので楽しみ!!
- ・広島風のお好み焼きを食べたい!!

【広島平和学習に参加した後】

世界で最初に原子爆弾が落とされた場所、多くの人や建物が失われたけど、人々がかを合せて成長していった場所

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

僕が一番印象に残ったのは、平和記念資料館
にあった人形石です。理由は、見たときの原爆への
恐怖が大きかったのと、そこで被爆してしまった人の
そのときの状況を想像しやすかったからです

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

今回広島で学んできた戦争の恐ろしさ、原子力爆弾
の怖さもより多くの人へ発信して戦争はしてはいけ
ないということを広く知ってもらおう

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- お好み焼きが食べたかった。
- 原爆ドームを自分の目で見てみたい。
- 平和記念式典に参加できることは
おたまりの思いから、すごく楽しみです。
- 学校で広島の話があまりとくしく知りた。

【広島平和学習に参加した後】

- 1945年8月6日8時5分に原爆が広島に投下されて、
たくさんのお人の命が失われた。
- 8月6日があったおかげで、もう二度とないおかげでたくさんのお人が
重いの。
- 原爆ドームはこわい、なごはいいけなはおんないものだと
思う。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和の時計塔が一番印象に残っています

理由は、朝8時15分にかねがねこの意味は朝8時15分に投下されたのでおぼろげになっているからで、朝8時15分は通せん、通学の時間である人がかねがね、いつまでも忘れないようにしているからである他にも、原爆マン4や、原爆の子の像などたくさんあり、忘れないでいきたいと思います

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくらしていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

人々が昔に大変なことがあり、これはおぼろげなことではないといふことがあり、これはおぼろげなことではないといふこと、絶対にはいけません。今の世の中、今の社会を知り、学校の授業や、家族と言合ひ、みんなの人になることができて、おぼろげに初めて知った人も、言合ひたり、おぼろげなため、広島について、知る人が増えたらいいと思います。世界が同じ考えを持ち、平和な世の中をつくらせよう、人人行動は、おぼろげな方がいいと思います。

広島について思うこと...

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆に原爆ドームを見てみたい
 - ・この広島平和学習で、平和の大切さを深く知りたい
- 選ばれし者

【広島平和学習に参加した後】

- ・言葉で表せないような気持ちになった
- ・あの日、雨が降っていたら、原爆はおとされなかったと歴史を複雑に

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

印象に残ったことは、平和の金鐘です。

理由は、金鐘に書いてあった世界地図には国境が書いてありませんでした。特に深い意味はないかもしれませんが、世界で協力して、核兵器廃絶を目指そうということなのではないかと思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

1人1人が平和を原質うこと。そうすることで、争いがなくなり、核兵器廃絶もできると思う。そのためにまずは身近な人から核兵器のこわさ、戦争の恐ろしさを伝えていくべきだと思う。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- 母親にすすめてもらって、自分も原爆について、戦争について知りたいと思い参加した。
- 原爆の影響がどんな風か知りたかったから。
- 今、広島がどんな所なのか、知りたかったから。
- 広島のお好み焼きが、どんな味が、楽しみです。

【広島平和学習に参加した後】

- 平和記念資料館で見た被爆者の遺品は、とても記憶に残った。三輪車や服などを見ることができよかった。
- 原子爆弾が与える影響は、人間がもはや人間ではない状態になり、広範囲に影響がおよぶものだと分かった。
- 広島は、小平市のような感じだった。
- この事業に参加し、平和記念式典に参列することができ、よかった。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

原爆ドームを見たこと。写真で見るよりも実際に目で見ると、傷が深く痛々しかった。近くで見ると、鉄骨が建物の外側に出て、たれ下がった状態のものもあった。さらに、建物の中には新しく原爆ドームを支える柱もあった。原子爆弾の破壊力はすごいものであり、自分の目で見ることでよかった。また、平和記念資料館では、被爆者の写真や遺品を見ることができた。事前に資料館の映像を見ていたが、生で見る方が、細部まで見ることができ、とても貴重な体験をすることができた。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世界は家族と過ごし、笑顔がたえない世界。私は、「力でねじふせることはできない」と、一人一人が心に留めることが大切だと思う。そして、悲劇を繰り返さないようにすることが、一番大切だ。

自分たちができることは、戦争の残酷さを知っておくこと。資料館に行くことができなくても、本なら、一年中読み、知ることができる。また、夏だけだがテレビでは戦争に関する特番が放送される。その時は、当時を生きていた人たちに思いを寄せ、自分事のようにとらえる。そして、平和について考えることが、自分たちにできることだと思う。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- ・広島について学校で何度か学んだので、実物を見て理解を深めた。
- ・式典を実際に見てみた。

【広島平和学習に参加した後】

- ・広島世界で初めての原爆が、蒼と土を都市で多くの人が亡くなり、
とても大変な事だと思えた。
- ・原爆の恐ろしさや前よりよく分かるようになりました。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

被爆者の話かとも心に残りました。

話を聞いているなかで「あれだけ大変な事なのに、かかわりませんでした。」

また、平和記念資料館の展示物も、原爆が危険という事を物語っていました。戦争も原爆もいけないと思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

私は平和について学ぶ、戦争がない世の中を作る事が大切だと思いました。

なので、私は、戦争をなくすために呼びかけたり、力をまわしたり、しようと思います。

広島について思うこと...

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆について、原爆がどれくらいひどいかわからなかった
- ・広島についてのイメージが違った。

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆についての思いが強まった
- ・戦争は不幸を呼ぶことがよくわかった
- ・広島平和学習に行きよかった。
- ・自分にとってとてもいい経験になった。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

原爆ドーム：理由は原子爆弾によるのが入るなと自衛隊
業業将校教官(原爆ドーム)がボロボロになるまでの
171人で警戒しました。自分はひがりにあていませんが原爆
ドームの姿が原子爆弾の怖さをのびたていませぬ島のこと
をよくしるつです。本当に負傷になりました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

国をこえての協力、核兵器の廃絶、SDGs
など争いを終わらせる。政治家をもとめたり
共々たい。貧困をなくす。自分にできることは、
ゴミを捨て、ユニセフを支援するなど

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

戦争や原爆に関する本やまんがを読んだことがあり、実際に原爆ドームなどを見てみたいと思ったので参加させていただきました。

戦争が何をもたらしたのか、平和とは何か、本場のお好み焼きとは、自分の目で見て確かめたいです。

【広島平和学習に参加した後】

今回の学習では、広島で起こった原爆被害を知識としてだけでなく、体感して学ぶことができました。

それはあまりにも悲惨で、沢山の人の命や尊厳を奪うもので、本堂に、二度と繰り返してはならないものだとして強く実感しました。「広島」と決して忘れるはならないと思います。そして、後世にも必ず語り継いでいきたいと思います。

また、現在の広島を見て、平和はとり戻すことができるものだということも学びました。広島の人達はとこも人情深く、ハリハリののお好み焼きはとこも美味しかったです。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は平和記念資料館を見た、被爆者家族の方々の、『助けてあげられなくて、ごめん』という言葉が深く印象に残りました。何よりも大切な最愛の人が、自分の目の前で、苦しみもがき、てくた、いくのとただ見ていることしかできない無力で、悲痛さ、かきせない怒り。それを原爆により何十万人が味わったのがと思うと、本当に胸が痛みました。この言葉を見て初めて、広島の方々の痛みが直接伝わってきた気がしました。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくには、相手のことを考える想像力と、歴史から目を背けないこと、それを権力を持った人が忘れないことの3つが大切だと思いました。

そしてそのために私達が今できることは、よく学び、よく寝ることだと思います。まずは今まで以上に歴史に興味を持ち、先人の失敗から学ぶこと。つぎに睡眠を多くとり、健康に成長し、相手の気持ちを考えてみること。この2つにより、まずは私達が周りを平和にできるようなものではないでしょうか。そして私達がいつか権力を持ったときに、世界を平和にできるかもしないと思います。

広島について思うこと...

【広島平和学習に参加する前】

• 自分が「赤紙」をもらう夢^{ゆめ}をみて、戦争のまどき
もとしておまをいとおもをかたです。
(夢とはいふいちこるおもをしからずです)
• とも「サツマク」なことがおまを^目_水

【広島平和学習に参加した後】

広島平和学習に参加した後広島について
思うことは、^白ク年前におまったまとはともサツマク
なまどで、その中でも広島をもとにまどそろとしてまを人
たちのおかげで今の広島がある人々なと思いました。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

一番印象に残ったものは、原爆ドームです。
理由は、1945年いまから77年前に、とうかさされたところ
だけのちきでも、原爆ドームをひとめみたを"1"で、
そのときのさんごくさや、と"れ"だけおそろいものだった
ところことがあからかたからです。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくためには、まず"戦争や"
原爆をいけんした人のいなしをせきよくてきにはきいて、
そのきいたことを、つぎの世を"い"こつたえていくの"か"
自分たちのできることを"と"おもいます。

参加者



小平第一小学校6年	上水中学校2年
小平第二中学校2年	明法中学校2年
小平第三中学校2年	小平第一中学校3年
小平第四中学校2年	小平第一中学校3年
小平第六中学校2年	小平第四中学校3年

引率：青少年委員1人、看護師1人、地域学習支援課職員2人

2022 小・中学生広島平和学習レポート

令和4年度版

令和4年12月発行

編集・発行

小平市教育委員会教育部地域学習支援課

小平市小川町2丁目1333番地

電話 042-346-9834

chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp

